

ふれあい情報

2025 年 12 月 9 日 (火) 第 404 号

■発行 日本退職者連合

■発行人 宇田川 浩一

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11



日本退職者連合

HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



第2回幹事会 (連合会館3階A・B会議室)

日本退職者連合 第2回幹事会を開催

11月19日(水)、「第2回幹事会」を開催して、役員の交代・各種取り組み報告および各ブロック・連合本部からの活動報告について全体で共有するとともに、今後の取り組みについて確認しました。

終了後、「2025全国高齢者集会第3回実行委員会」を開催し、総括と来年の「2026全国高齢者集会」の開催日程について確認しました。

野田会長あいさつ



62年前に狭山事件が起こりました。石川一雄さんは、獄中から無実を叫び、仮出獄後も、何度も再審開始の要求を行いました。今年3月にお亡くなりになりました。

お連れ合いの石川早智子さんがずっと無罪を主張し、亡くなった後も、第4次再審をめざして活動しています。連合も署名活動を行っており、退職者連合も署名活動を取り組んでいます。

私も石川早智子さんの活動をこの間支えてきました。この第4次再審の実施を求めて、無実を晴らしたいと

議事

いう強い思いがありまして、今回、参加を呼びかけさせていただきました。

本日は、石川早智子さんから、取り組みへのお礼と協力のお願いを訴えさせていただきますので、ご協力をお願いしたいと思います。

続いて、石川早智子さんからこれまでの活動と再審実現への強い思いをこめたお話を伺いました。＊別掲

初めに、役員推せん委員会からの役員交代についての報告を受けて、宇田川事務局長より、承認事項・活動報告ならびに各ブロックからの報告を受け、意見交換を行いました。

続いて、協議事項を提起し、質疑・応答を踏まえて全体で確認し、第2回幹事会を終了しました。

承認事項 役員交代

○副会長

退任 則松 佳子さん
新任 富田 珠代さん

○副事務局長

新任 高橋 洋子さん

○幹事

《全日本自治体退職者会》
旧幹事 川端 邦彦さん

新幹事 中西 満さん

《情報労連NT労組退職者の会》
旧幹事 高橋 洋子さん

新幹事 川崎 真弓さん

新幹事 相馬 真琴さん

《全印刷退職者の会》
旧幹事 荒川 洋さん

新幹事 斉藤 芳広さん

《関東ブロック》
旧幹事 遠藤 幸男さん

新幹事 高木 時夫さん

《北陸ブロック》
旧幹事 山田 太郎さん

新幹事 斉藤 重範さん

報告事項

○役員推せん委員会報告

○事務局任務分担

○各種専門委員会報告

○2025年度政策・制度要求「要求と回答」

○2025全国高齢者集会と2026全国高齢者集会について

○関係団体・組織の諸会議・行動について

○ふれあい情報の発行

○産別・関連団体、地方プロ

シクの総会、学習会派遣
○ブロック・連合の報告

◇協議事項

○ロシアとイスラエルによる
の侵攻の即時停止を求める
要請について

○2025 年全国事務局長会議に
ついて

○2025 年政策・制度要求実現
2.13 院内集会について

○ジェンダー平等委員会第
14 回学習会について

○狭山事件第 4 次再審請求
を求める署名の取り組み
について

○「2025 年度組織実態調
査」の実施について

ブロックからの報告

北海道ブロック

10 月 3 日にジェンダー平
等集会を開催し約 100 名が参
加。

10 月 9 日に定期総会を開
催。衆院選 12 選挙区での推
薦候補予定者へ推薦状を手
交。高校生平和大使からの報
告等。

東北ブロック

各県の特徴的な取組や定
期総会開催の報告。青森県連
で初の女性副会長を選出。

福島県では会津地域退連結
成で、県内全て 6 地域退連体
制確立。

関東ブロック

各県都の活動を報告。関東
ブロック担当を務める東京
高退連では会長が交代。退任
にあたりブロック内県退連
総会で挨拶。

東海ブロック

東海 5 県での政策制度要
求の共通課題①医療提供体
制及び在宅医療基盤の整備
と充実。②介護労働者の職務

北陸ブロック

改善及び認知症基本法の着
実な推進③高齢者が安心し
て暮らせる居住の場、地域社
会の創造、の同一要請を作成
各県で協議後提出予定。

12 月 7 日に北陸ブロック
総会を開催、ブロック幹事を
福井県に変更した。ブロック
総会では、組織拡大や財政の
厳さなどについて意見交換
した。

近畿ブロック

10 月 28 日にブロック総会
を開催。総会前段で「高齢者
の免許更新と自転車交通
ルール」の講演を行った。
10 月 16 日ブロックハイキ
ングを大阪城で開催。

中国ブロック

ジェンダー平等学習会や
社会貢献活動を各県が取り
組んでいる。政策要求は今後
要請行動に取り組む。

四国ブロック

9 月 29 日に四国ブロック
の定期総会を高知で開催。
各退連の活動等を報告。

九州ブロック

10 月 28 日に、会長・事務局
長参加の拡大幹事会を開催。
25 年度の政策制度要求の
取り組み報告や組織拡大の
問題を意見交換。沖縄から有
機フッ素化合物問題を特別
報告。

連合本部

①2026 春季生活闘争方
針は、5%以上とその実現に
こだわる。
②労働時間法制、労働時間の
規制緩和について、過労死が
増え続けている状況中、命と
健康より大切なものはない
という認識でこの改悪に反
対の取組を強化する。

石川早智子さんからのお礼と活動状況報告



石川早智子さん

石川一雄は、狭山事件の犯人とされ、60 年以上無実を訴え続け、
再審査請求を求めて戦い続けましたが、今年 3 月に 86 歳で見えない
手錠がかかったまま無念のうちに旅立ちました。
私は、夫の意思を引き継ぎ何としても無罪判決を勝ち取りたいと第
4 次再審を申し立てています。

第 4 次再審実施に向けて、署名運動を 4 月から取り組み始めて短期間で 21 万を超える署名を
いただき、10 月 10 日東京高裁に提出しました。

これまでの皆さん方の支援へのお礼を申し上げつつも、この第 4 次再審への皆様方のさら
なる「支援」協力をお願いし、貴重な時間をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

新役員紹介

第2回幹事会で新役員に承認された役員の皆様をご紹介します。



幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	常任幹事	副事務局長	副会長
斉藤重範さん	高木時夫さん	斉藤芳広さん	相馬真琴さん	川崎真弓さん	中西満さん	高橋洋子さん	富田珠代さん
北陸ブロック	関東ブロック	全印刷退職者会	NTT 退職者会	NTT 退職者会	自治退	NTT 退職者会	連合副事務局長
(福井退連)	(東京高退連)						



立憲民主会派のヒアリングで要求趣旨の説明(衆議院第2会館地下会議室)



岩崎副事務局長

岩崎副事務局長より要請項目(下記参照)の

日本退職者連合は、11月4日(火) 17時45分から開催された、立憲民主党会派厚生労働部門会議のヒアリングに対応し、「2026年度税制改正・政策・予算要望」について説明と意見交換を行いました。

冒頭、早稲田ゆき厚生労働委員会理事(衆議院議員)より開会挨拶があり、続いて野田会長より「高市政権になり、防衛費の対GDP比増額・安全保障政策の関係もあるが、今日は予算・国会対応関係について説明させていただくのでよろしく願います」と挨拶後、

中から、

1. 税制改正要望①個人所得税の所得再分配機能の強化。
2. 政策・予算要望①教育予算の拡充、②年金生活者支援給付金の拡充、③医薬品の安定的な供給体制の早急確立等について、ポイントを絞って説明を行いました。

その後、4名の出席議員から質問があり、それぞれに答え、意見交換を行い、要請内容への共有と理解を図りました。

最後に、野田会長より、「対GDP、防衛費の問題は負担増になってくるので対応をよろしく願います」と防衛費増額への危惧を訴え、終了しました。

2026年度税制改正・政策・予算関係について 立憲厚生労働部門会議ヒアリングで 意見反映を行う

日本退職者連合は、第29回期総会で決定した「2025年度政策・制度要求」の実現に向けて、立憲民主党会派厚生労働部門のヒアリングで趣旨説明を実施。

ヒアリングで

要請した内容

税制改正要望

1. 個人所得税
2. 法人税
3. 消費税
4. 国際連帯税
5. 地方税

政策・予算要望

1. 予算編成の健全化
- ① 適正な予算編成
- ② 防衛予算の適正化
2. 子ども子育て支援
3. 年金保険制度
4. 地域包括ケアネットワークの確立
5. 医療制度
- ① 提供体制の整備
- ② 在宅医療基盤の整備・拡充
- ③ 高齢医療制度における自己負担の在り方の再検討
6. 介護保険制度
- ① 介護労働者の処遇改善
- ② 応能負担
7. 貧困・低所得者対策
- ① 物価高騰対策
- ② 低所得高齢単身女性問題
8. 地域公共交通を軸とする移動確保の充実
9. 社会保障としての住宅
10. 食の安心・安全・安定
11. デジタル化政策

外務省に侵攻の即時中止を要請 ～ 3項目にわたる要請書を手交 ～

日本退職者連合は、12月1日(月)14時より外務省に対して、ロシアによるウクライナ侵攻およびイスラエルによるガザ侵攻の即時中止に向けた行動を求めて、要請行動を行いました。



野田会長より三宅大臣官房審議官に要請書手交（中央）。石川欧州局審議官（右から4番目）。

太衆院議員（左から4番目）松田衆院議員（右から3番目）。鈴木衆院議員（右から2番目）。他事務局

要請行動には、立憲民主党の太衆志衆院議員、松田イサオ衆院議員、鈴木ようすけ衆院議員も帯同し助言をしていただきました。

冒頭、野田会長より「当該紛争について、一日でも早く収束してもらいたいという退職者連合会員70万人の思いを要請させていただく」と挨拶し、要請書を手交しました。

外務省からは、三宅大臣官房審議官、石川欧州局審議官が対応していただき「要請内容については70万会員の思いとして重く受け止め省内でも共有していく。要請内容については、日本政府の立場



外務省の審議官と意見を交わす野田会長

として紛争収束に向けて対応している。今後も引き続き国際人道保護、国際法の遵守など働きかけをしていきたい」との回答がありました。その後、意見交換を行い、野田会長より「日本政府の動きが市民には見えにくい。これからも対応をよろしくお願いしたい」と再度発言をして、要請行動を終了しました。

要請行動の調整および帯同をしていただいた立憲民主党の議員・事務局の皆様ありがとうございました。

○要請内容

- 一・日本政府として、ロシア政府およびイスラエル政府に対し、侵攻の中止を強く申し入れること。
- 二・日本政府として、国連の場において和平会議の開催を主導すること。
- 三・日本政府として、直ちにパレスチナを国家承認すること。





上の QR コードは、「核兵器廃絶 1000 万署名」連合特設サイトに移行する QR コードです